2026年11月11日
株式会社ガスパル

「Than九号2号機」が2026佐賀インターナショナルバルーンフェスタに初参加
宮崎大学気球部との協働により、LPガスで地域に笑顔と活力を届ける

LPガスを中核に保安最優先でエネルギー事業を展開する株式会社ガスパル（本社：東京都品川区、代表取締役社長：黒澤秀起）は、当社が所有し、宮崎大学気球部が飛行・運航する熱気球「Than九号2号機」が、2026年10月30日（金）から11月3日（火・祝）まで佐賀県佐賀市で開催される2026佐賀インターナショナルバルーンフェスタに参加したことをお知らせします。
今後もガスパルグループは、「人の生きる」と共に歩むエネルギー企業として、地域の皆さまとのつながりを大切にしながら、エネルギーを通じた体験や学び、明るい話題を提供していきます。

■初号機から2号機へ、熱気球プロジェクトの思いを継承

ガスパル九州熱気球プロジェクトは、LPガスを燃料として飛行する熱気球を通じて、社員の連帯感を高めるとともに、地域をはじめとするステークホルダーの皆さまへ明るい話題を届けることを目的として、2018年に始動しました。「夢を、カタチに」を合言葉に、社員の連帯感と地元九州への地域貢献のシンボルとして誕生したのが、「Than九号（サンキュー号）」です。
「Than九号」には、地域や関係する皆さまへの感謝の気持ちと、九州から多くの皆さまへ笑顔と活力を届けたいという思いを込めています。
初号機は、飛行時間が限界を迎えたことから、2026年春に新たな球皮へと更新し、「Than九号2号機」と命名しました。これまでに積み重ねてきた経験や地域の皆さまとのつながりを2号機へ引き継ぎ、熱気球を通じた地域貢献活動を今後も継続していきます。



Than九号2号機の様子

■宮崎大学気球部よりコメント

沢山のパイロットを輩出してきたThan九号の新たな門出です。会場を盛り上げることができるように頑張りました。

■2026佐賀インターナショナルバルーンフェスタについて

佐賀インターナショナルバルーンフェスタは、世界各国から100機を超える熱気球が参加する、アジア最大級の熱気球の国際大会です。2026年大会は、「第39回パシフィック・カップ」「2026熱気球ホンダグランプリ第3戦」「バルーンファンタジア2026」などで構成され、2026年10月30日（金）から11月3日（火・祝）までの5日間、佐賀県佐賀市嘉瀬川河川敷および佐賀平野一帯で開催されました。
「Than九号」は2019年から同大会に参加しており、2026年大会ではフェスタ部門※および夜間係留に参加しました。
※フェスタ部門とは、競技で順位を争うことを主目的とせず、フライトを楽しみながらタスク（競技）を行う部門です。

・大会名称：2026佐賀インターナショナルバルーンフェスタ
・開催期間：2026年10月30日（金）から11月3日（火・祝）まで
・開催場所：佐賀県佐賀市嘉瀬川河川敷および佐賀平野一帯
・主催：一般社団法人佐賀バルーンフェスタ組織委員会

Gaspalは、「人の生きる」と共に歩むエネルギー企業へ

【本件に関するお問い合わせ先】 株式会社ガスパル 本社　広報課
〒140-0002　東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー11 F
TEL：03-6718-9080（代表）　FAX：03-6718-9131　メール：gpkouhou@kentaku.co.jp